

政策調整委員会における主な質問及び回答等並びに審議結果について

1. 主な質問及び回答

<定員、待機児童・保留児童に関すること>

| 項番 | 質問 | 回答 | 対応状況、今後の対応 |
|----|---|---|---|
| 1 | <p>国府幼稚園は3歳児を受入れしているため、北松尾よりもこどもの数が多いように感じるが、国府幼稚園はなぜ3歳児を受入れしているのか。</p> <p>また、北松尾幼稚園についても、3歳児の受入れを開始するだけで、入園者が増え、認定こども園化を行わずとも集団教育の確保ができるのではないのか。</p> | <p>国府幼稚園はもともと4歳児、5歳児の受け入れだったが、3歳児保育を実施していた幸幼稚園の廃園に際し、国府幼稚園で3歳児保育を継承したものの。</p> <p>北松尾幼稚園で3歳児の受入れを開始すれば、入園者が増える可能性はあるが、3歳児の受入れを実施している国府幼稚園でも減少傾向にあることもあり、認定こども園化すれば、0歳から2歳児の保育定員も増やせるので、一定の待機児童対策にもつながることから、認定こども園化を選択するもの。</p> | 同左 |
| 2 | <p>待機児童だけではなく、保留児童も注目を集めつつあるが、本市の保留児童に対する考え方を確認したい。</p> <p>また、今回の認定こども園化は中部地域の保留児童抑制に寄与するものなのか。</p> | <p>本市の保留児童に対する方向性としては、全てを解消する必要は無いが、一定の対応は必要との認識を持っている。</p> <p>中部地域における保留児童としては、令和5年度は225人、令和6年度は229人となっている。</p> <p>今回の認定こども園化は一定の対策にはなるものの、これで十分とは認識しておらず、引き続き、中部地域においては民間園に定員増を働きかけるなど、対策が必要と認識している。</p> | <p>定員増の働きかけについては、民間園への施設改修等の補助金交付時等に実施しており、状況は以下のとおり。</p> <p>R6いぶきのPreschool大規模修繕⇒定員増予定なし</p> <p>R7新光明池幼稚園一部改築⇒定員増未定</p> <p>R8双百合幼稚園一部改築⇒定員増未定</p> <p>その他、対策等の詳細については現在策定中となる令和7年度からの5か年計画で改めて検討を行うことになるが、現在予定している対策としては、今回の北松尾幼稚園・保育園の認定こども園化による定員増のほか、R6より拡充を行った就職支援補助金等による保育士確保策の充実が挙げられる。</p> |
| 3 | <p>以前に議会の中で保留児童となる要因も分析したうえで対策を検討していくと答弁していたと認識しているので、保留児童となる要因も把握した上で対応するように</p> | — | <p>現時点では申込者数のピークを令和7年度と見込んでいるが、申込者数が大きく減少するものではなく、保育士不足による定員割れを解消することや、中部地域における定員増加が一定必要と認識している。</p> |

<運営に関すること>

| 項番 | 質問 | 回答 | 対応状況、今後の対応 |
|----|---|--|---|
| 4 | <p>本市で初の公立認定こども園になるにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第22条で幼保連携型認定こども園は市長の職務権限となっているが、認定こども園の事務について、市長部局か教育委員会か、どちらの事務として実施を考えているか。</p> <p>また、事務委任規則の改正などの検討状況はどうなっているか。</p> | <p>公立認定こども園の管理運営については、市長部局の事務に当たるため、事務委任が必要と考えている。</p> <p>また、公立認定こども園の使用料の徴収については補助執行で対応予定。</p> <p>時期や内容の詳細については政策企画室と調整中。</p> | <p>教育委員会会議に諮る必要もあることから、年内に関係部局との調整をすすめ、令和7年第1回定例会で提案を予定している設置管理条例に合わせ必要な改正等を行う。</p> |
| 5 | <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条で公立の認定こども園を設置する場合は、基本的な事項について規則で定めなければならないが、規則制定にあたっては、教育委員会の意見を聞かなければならないとなっているため、ご留意願う。</p> | — | 同上 |
| 6 | <p>公立の拠点園として実施する5つの取組みが資料に記載されているが、計画で終わらず本当に実現できるようにマネジメントしていく必要がある。</p> <p>これから策定することも計画でも拠点整備ということが議題になると考えるのでしっかりと連携して取り組むように。</p> | <p>地域の子育て支援の拠点としての役割を担うといったことや、こども誰でも通園制度を実施することについて、今後、連携のあり方も含めて考えていきたい。</p> <p>5つの項目の実現について、まだ具体的にどうしていくかというところが曖昧なところもあるため、これからハード面の設計と合わせてそちらの充実も検討していきたい。</p> | <p>令和8年度の開設時に連携や5つの項目の実現が行われるよう、令和6～7年度にかけて検討・調整を行う。</p> |
| 7 | <p>令和元年度に策定された整備方針から整備する時期を大きく前倒しすることになるが、こども施策の実施に関する事項等を審議する市の附属機関である「こどもまんなか会議」で、この事項を審議してもらう必要はないという考えでよいのか。</p> | <p>まず、平成29年度に定めたあり方本体については、当時の「子ども・子育て会議」に審議のうえ答申をもらっている。</p> <p>一方、令和元年度に策定した、あり方の具体的な内容を定めた整備方針については、「子ども・子育て会議」に案の報告を行ったうえで、政策調整委員会に諮り承認を経て、12月議会で報告を行っている。</p> <p>今回の審議事項は、あり方本体を見直すものではなく、あり方の具体的な内容を定めた整備方針の変更にすぎないため、「こどもまんなか会議」での審議は必要とは考えていない。</p> <p>なお、今回の審議事項については、令和6年2月の「こどもまんなか会議」で一定の方向性を報告しており、本日の政策調整委員会を経て、6月議会で報告を行い、9月の「こどもまんなか会議」で改めて報告をするという流れで考えている。</p> | 同左 |

| | | | |
|----|---|--|--|
| 8 | <p>人件費について、園長については2園が1園になることで削減効果が出ているが、用務員については、増減が0人または1人の削減となっている。</p> <p>用務員の配置の考え方はどうなっているか。</p> <p>また、増加する人件費は全体でいくらと見込んでいるか。</p> | <p>用務員については、現在、北松尾保育園は市職員、北松尾幼稚園はシルバー委託で、それぞれ配置している。</p> <p>認定こども園化後については、2名または1名と考えているが、認定こども園化後の業務内容や市職員の人員数等を踏まえ、決定していきたい。</p> <p>人件費の増加については、園長が1人減、保育士が6人増となることで、人件費が約2,600万円増加すると見込んでいる。</p> | <p>具体には、令和8年度当初予算要求までに拠点園での業務を含めて整理していく。</p> |
| 9 | <p>北松尾幼稚園の昼食については、現在、外から搬入して対応している一方で、北松尾保育園については、保育園にある調理室から給食を提供していると認識しているが、認定こども園化により今後はどうなるのか。</p> | <p>認定こども園化した場合は、1号幼稚園部分の児童についても、2・3号保育園部分と同様に、保育園にある調理室から給食の提供を行う。</p> | 同左 |
| 10 | <p>くすのき保育園について、「整備方針」に認定こども園化を検討するとあるが、早々に認定こども園化する必要はないのか。</p> | <p>「あり方」において、公立の幼稚園（幼稚園機能）として残す、と定めている園は「国府幼稚園」と「北松尾幼稚園」の2園になる。</p> <p>北部地域では、将来的にくすのき保育園を認定こども園化する結果として、今まで公立の「幼稚園機能」が無かった地域に、新たに「幼稚園機能」が加わることになる認識をしており、北松尾のように、急ぎ対応が必要とは認識していない。</p> <p>北松尾と北西部で認定こども園化した結果、どのような影響があるのかを踏まえ、くすのき保育園の認定こども園化の時期を検討していきたい。</p> | 同左 |

<施設に関すること>

| 項番 | 質問 | 回答 | 対応状況、今後の対応 |
|----|--|--|--|
| 11 | 北松尾保育園、幼稚園ともに、大規模改修の予定はあったか。 また、令和7年度の認定こども園化の改修に合わせて大規模改修を行う考えはないか。 | 当初の予定では、大規模改修の予定はなく、施設が老朽化した時点で新園を整備して開園する予定であったが、今回の前倒し対応を行うとなれば、いずれかの時点で大規模改修が必要になると考える。 現時点では、まず、幼稚園部分の教育環境の改善、保育定員の増を目的に速やかな認定こども園化を図るべく、最低限での対応とするが、今後については、大規模改修の計画の整理が必要と考えている。 | 「和泉市教育施設等長寿命化計画」の改訂を令和8年度に予定しているため、その中で整理していきたいと考えている。 |
| 12 | 令和7年度に予定する改修工事等の概要が示されているが、これらの改修工事を実施した場合、現時点でどのくらいの費用を想定しているのか。 | 今回の認定こども園化に必要な改修費用は、目標額で約5,000万円と見込んでいる。 | 同左 |
| 13 | 改修費用約5,000万円というのはあくまで現時点での概算費用であるため、今後どの部屋をどの程度改修が必要か等を精査して、最小限の改修で必要な効果が得られるように願う。 | — | 改修内容を精査し、最小限の改修で必要な効果が得られるよう努める。 |
| 14 | FMの観点から考えると、北松尾保育園の施設だけで公立認定こども園化を実施し、北松尾幼稚園部分については、民間に貸して民間認定こども園をしてもらう案もひとつではないか。 公立の面積も減り、民間に有効活用してもらえれば、もっと待機児童の解消につながるのではないかとといった意見が議会等でも出るのではないか。 | まず、北松尾保育園園舎だけでの認定こども園化を行うことについては、現在の部屋の面積から4歳5歳の受け入れは30人が最大となってしまうため、保育園園舎のみで認定こども園化を行うことは定員の増加確保という効果が達成できないものと考えている。 また、北松尾幼稚園の施設を民間に貸すことについては、FMの観点に寄与するものではあるが、現状の施設のまま民間園にすることは、調理室、保育室、トイレ等の対応から新築が不可避であると考えている。 民間園を新たに整備する場合には、当然、保育ニーズの再整理、現在のあり方方針も見直す必要があるもので、スピード感をもった対応もできず、望ましいものではないと考えている。 | 同左 |

2. 審議結果

集団教育の確保及び保育定員の拡充を行うため、付議要求のとおり、既存施設を改修して令和8年4月から北松尾幼稚園及び北松尾保育園を認定こども園化することについて承認する。
なお、教育委員会会議、第2回定例会厚生文教委員会協議会における意見を聴取した上で、最終的意思決定を図ることとした。